



日本の  
ひなた  
宮崎県

中部農林だより

No. 36(令和4年2月)  
宮崎県中部農林振興局  
宮崎市橘通東1-9-10  
(電話)0985-26-7278

# 元気の芽

こちら畑かん営農の現場です！

畑地かんがい（以下：畑かん）とは、ダムや貯水池に溜めた水を、パイプラインを通して、農作物が水を必要とするときに供給するシステムで、県内各地で整備を行っています。今回、中部管内の畑かん活用事例を紹介します。



## 畑かん活用事例 日向夏の散水氷結！



写真：幻想的な氷の世界と化した日向夏園地（令和3年12月下旬／綾町）

露地日向夏栽培では、 $-4^{\circ}\text{C}$ 以下が4時間以上続くと、果肉が凍結する「す上がり」が発生し、品質と生産量が低下する原因となっています。そのため畑かん水を活用した『散水氷結法』による「す上がり」防止対策が実施されています。

令和3年12月下旬、綾町の園地は寒波に遭遇し、外気温 $-5^{\circ}\text{C}$ まで低下したものの『散水氷結法』により果実の最低温度は $-3^{\circ}\text{C}$ に抑えられ、保温効果を確認することができました。

『散水氷結法』とは・・・ 水1gが凍るときに約80calの熱が発生します。この熱を潜熱（せんねつ）といいます。水をかけながら氷を作り続けることで、潜熱が発生し続け果実の凍霜被害を防ぐ方法です。

# 誕生200年！ 宮崎県生まれの柑橘「日向夏」



表紙でもとりあげた「日向夏」ですが、

日本一の栽培面積・生産量を誇り、春を感じさせる爽やかな風味が特徴の県を代表する特産果樹です。中部地区では宮崎市と綾町を中心に栽培されています。

今回は日向夏について、知っていると思わず自慢したくなる…かもしれないちょっとマニアックな情報を含めてご紹介したいと思います！

## ●日向夏とは？

和名：ヒュウガナツ（日向夏）

学名：*Citrus tamurana hort exTanaka*

シラス 舩ヲ

科名：ミカン科 カンキツ属

別名：小夏、ニューサマーオレンジ

来歴：宮崎市曾井（現在の宮崎市赤江）の真方安太郎という方の邸内竹藪の中で偶然発見されました。

江戸時代文政年間（1820年頃）に見つかったと言われ、日向夏が発見されてから約200年が経過しています。親はユズとする説が一般的でしたが、近年の研究ではタチバナではないかと推定されています。



### 栽培面積と生産量

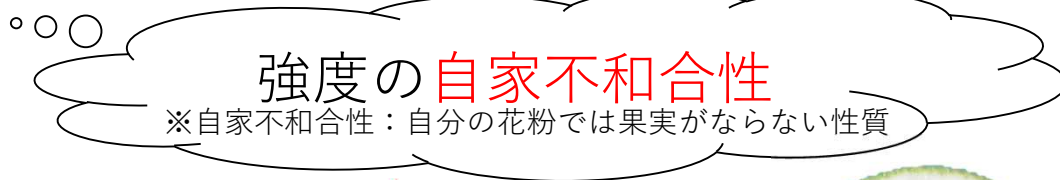
	全国	宮崎
栽培面積(ha)	330	173
生産量(t)	5,459	3,202
他の産地	…高知、愛媛、静岡	

（出典：宮崎の果樹2020 宮崎県）

## ●栽培上の特徴

一般的に種子があるカンキツ類では自家受粉（自分の花粉で受粉すること）で結実するのが普通ですが、日向夏は強度の自家不和合性（雄しべ、雌しべが正常でありながら、自分の花粉では受精が行われないこと）を持ちます。

この特徴をうまく利用することで、ジベレリン処理による種無し日向夏や種の少ない日向夏(少核系)の生産技術が確立されています。



ジベレリン処理

自然受粉・人工受粉

完全種無し果実  
ハウスでのみ可能  
果実がやや小さい



安定した大玉果実  
種子の混入  
露地でも可能  
4倍体花粉使用により少核果生産可能



## ●日向夏の魅力

日向夏のおいしさの秘密はふかふかの白皮（アルベド）にあります！

ほんのり甘味のある白皮と、爽やかな酸味のある果肉を一緒に食べることで日向夏の独特な風味を楽しむことができます。



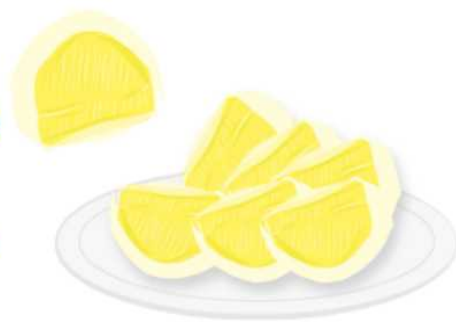
日向夏って  
どうやって食べるの？



りんごの皮をむくように、  
黄色い皮の部分を薄くむきます。  
ふかふかの白皮の部分は残してください！



芯の部分を残すように、そぎぎります。



（出典：日向夏発見200年特設サイト  
<https://www.hyuganatsu200th.com>より）

## ●散水氷結法について（表紙写真）

近年、気候変動の影響による極温（極端な高温、低温）が増加し、3月から出荷が開始される露地日向夏では厳寒期（1～2月）の寒波による「す上がり」の発生が問題となっています。大量の水が必要となりますが、これまでの対策に比べて比較的簡易な凍霜被害対策として畑かん受益地区で導入されています。

効果は十分実証されていますが、寒波の程度によっては昼間に氷が解けきらずにさらに氷が付着することによる重みで枝折れが発生するため、散水方法や時間の調整等が課題として残っています。

## 食と農を育む大地 ～県営耕作放棄地整備事業「吉野地区」記念碑除幕式～

令和4年1月28日（金）、宮崎市吉野公民館において、吉野堤内土地改良区主催による県営耕作放棄地整備事業吉野地区記念碑除幕式が執り行われました。

当地区は、農道、用排水路の整備が遅れ、小区画のため、農作業の大型機械化や農地の集積が進まず、経営の合理化が図れない状況であり、耕作放棄地も見受けられました。平成22年の本事業着工以来11年の歳月を経て、ほ場の区画拡大や水路のパイプライン化等の整備を行い、耕作放棄地の解消や大型機械の導入による営農の省力化等が図られ、安定した営農の展開が可能になりました。

これからの吉野地区の農業の更なる発展が期待されます。



施工前

施工後



江藤拓元農林水産大臣に揮毫いただいた記念碑



農村風景

[農村整備課]



## 散水器具の実演会を開催



中部地区畑作営農改善推進協議会では、畑かんの更なる推進を図り、収益性が高く安定した農業を実現するため、畑かんを活用した散水器具実演会の開催を支援しています。

令和3年10月28日（木）・29日（金）、高岡町内山東地区において、散水チューブやレインガンなど様々な種類の散水器具を設置し、散水効果を紹介しました。また、宮崎市高岡総合支所の協力で、散水器具導入の受付も同時に行いました。

2日間で述べ42人が参加し、活発な質疑や申込みを行う方もいらっしゃる等、畑かん利用への関心が高いことがうかがえました。

[農村整備課、農業経営課]



大勢の人達で賑わった散水器具実演会

畑かん利用に関する事など、詳しくはホームページで紹介しています。



## 農産園芸特産物の令和3年度表彰について

県では例年、米（2部門）、野菜、花き、果樹、茶、葉たばこの計7部門について優秀な成績を収めた農業者及び団体を表彰しております。

令和3年度、中部地区からは、米、野菜、花き、果樹、野菜、葉たばこの5部門において、9名の生産者が知事賞を受賞されました。また、そのうち3名は農林水産大臣賞を受賞されました。

### うまい米づくりコンクール

早期水稲の部 1等 長友則道（宮崎市）

### 野菜共進会

経営部門（個人） 優等 川崎竜二（ミニトマト）（宮崎市）

### 花き共進会

経営部門（個人） 優等 仁田脇バラ園 仁田脇大輔（宮崎市）

### 果樹共進会

経営部門 優等 小窪 篤（きんかん）（宮崎市）

### 葉たばこ共進会

優等 齊藤誠司（宮崎市）

1等 高橋和男（宮崎市）、谷口孝寛（宮崎市）

2等 外山啓次（宮崎市）、津田政博（宮崎市）

知事賞と農林水産大臣賞を  
W受賞された皆さま



バラ  
仁田脇大輔さん



きんかん  
小窪 篤さん



葉たばこ  
齊藤誠司さん

## 第60回宮崎中央畜産共進会・畜魂祭を開催

令和3年11月16日（火）、JA宮崎中央家畜市場で、宮崎中央畜産共進会が開催されました。JA宮崎中央とJA綾町管内から、雌子牛46頭、去勢子牛8頭、育成牛27頭の出品があり、育成の部は第1類（生後12ヵ月以上17ヵ月未満）及び第2類（生後17ヵ月以上22ヵ月未満）に分かれて実施されました。

グランドチャンピオンには、育成牛の部（第2類）優等1席 関屋直樹さん出品の「かおり」号（耕富士産子）が選出されました（写真右）。

審査委員長から、全体的に発育、体積、腹容等の良い牛が多く見られ、一日一日の努力の積み重ねが感じられたという講評とともに、出品された優良牛は地域の繁殖雌牛の基盤づくりに役立ててほしいという激励がありました。



共進会の様子



グランドチャンピオン  
「かおり」号

また、令和3年11月30日（火）、JA宮崎中央家畜市場畜魂碑前で畜魂祭が開催され、生産者代表、関係団体、JA、市町、県等の関係者約35名が出席し、管内で飼育されていた家畜及び口蹄疫で犠牲になった家畜の慰霊が厳かに行われました。

[農業経営課]

## 令和4年 子牛初セリが開催されました！

令和4年1月9日（日）・10日（月）に、令和4年で県内初となる子牛セリ市が宮崎中央家畜市場で開催されました。

初セリの開会式では家畜市場の管理者であるJA宮崎中央の栗原組合長から昨年の購買に関する感謝が述べられ、関係団体からの多数の来賓が見守るなか、子牛セリが開催されました。

当日は668頭の売買が成立し、前年同月よりは価格が低下したものの、コロナ状況下において概ね堅調な価格推移となりました。

[農畜産課]



子牛初セリの様子



### 平均販売価格（税込）

雌 : 708千円（前年同月比：△41千円）  
去勢 : 790千円（前年同月比：△45千円）

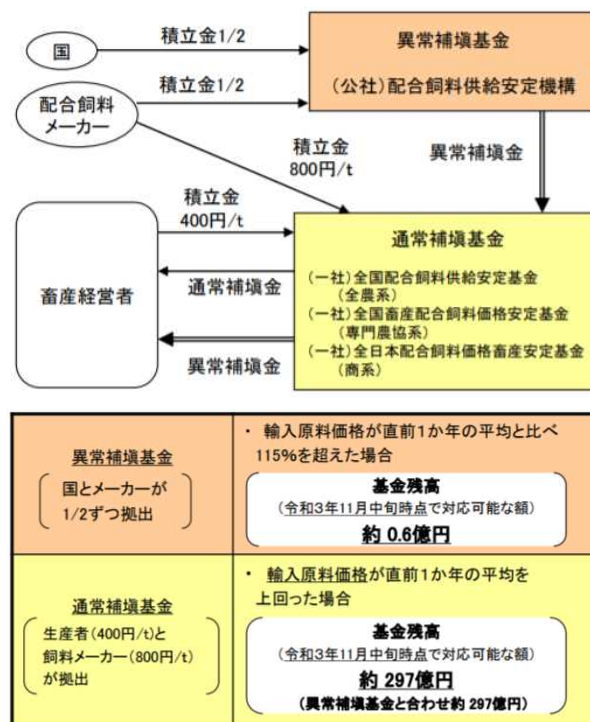
## 燃油、飼料などの価格が高騰しています

燃油、飼料、肥料、資材などの高騰が続き、農業経営を大きく圧迫しています。

そのうち飼料について、令和3年12月17日（金）、JA全農ホームページにおいて、令和4年1～3月期の配合飼料供給価格が、全国全畜種総平均トン当たり2,900円値上げとなることが公表され、過去最高値を更新することとなりました。

価格上昇の原因としては、とうもろこしや大豆粕価格の値上がり、外国為替の円安推移に加え、そう糟類、油脂、飼料添加物などの原料の高騰も影響しており、価格推移が不安定な外国産飼料からの脱却と地域産自給飼料の活用がこれまで以上に求められています。

また、価格高騰時の経営への影響緩和のための対策として国・配合飼料メーカー・畜産経営者の積立てによる「配合飼料価格安定制度（基金）」への加入推進が図られています。[農畜産課]



配合飼料価格安定制度の仕組み

## 林政

### “林野火災予防パレード”を行いました

県では、広く県民に山火事予防意識の啓発を図るため、「山火事予防運動」に取り組んでいます。例年、1月～3月にかけて山火事が多発する傾向にあることから、山火事予防月間（令和4年1月6日～31日）、山火事予防強化週間（令和4年1月25日～31日）を定め、「山火事を防ぐあなたの心がけ」を統一標語に、県内各地域で予防運動を展開しました。

中部地域でも、1月25日（火）に宮崎市・国富町・綾町それぞれにおいて、宮崎市消防局をはじめ、国有林関係機関や市町、森林組合等に御協力いただき、広報車による広報活動“林野火災予防パレード”を行いました。

近年の林野火災の状況としては、宮崎市消防局管轄において令和3年に3件、令和4年1月に1件の林野火災が発生しています。

水源のかん養や土砂災害の防止、二酸化炭素の吸収・固定など、多面的な機能を持つ森林は県民共有の財産であり、将来にわたり守り続けていく必要があります。大切な森林が火災によって失われることがないように、火気の取扱いには十分注意しましょう。

[林務課]

一人ひとりの心がけて山火事は防ぐことができます！

山火事を防ぐあなたの心がけ



4号館玄関



国富町



綾町



田野町



佐土原町



高岡町

## 宮崎県森林土木協会による海岸県有林での環境保全活動

令和3年11月19日（金）、海岸県有林内で宮崎県森林土木協会による環境保全活動が実施され、宮崎支部・日南支部・串間支部から会員43名が参加し、藤兵衛中州県有林内のクロスカントリーコースの路面補修やコース周辺の草刈り、ゴミ拾いを行いました。

活動を行ったのは、松林の中を巡る緑陰コースです。このコースは、自然の起伏を生かした土の路面で、潮騒や緑あふれる景色を感じながら、ウォーキングやランニングを楽しむことができ、地域の方々はもちろん、あの青山学院大学駅伝部が合宿で使用するなど、幅広く利用されています。



路面補修の様子

しかし、自然の起伏を生かした土のコースであるがゆえに、降雨の影響などで表土が流れ出したり、水たまりができるなど利用しづらくなっていたことから、県森林土木協会が会員の技術と機材を用いて、ボランティアで路面の補修をしてくださいました。

活動終了後、クロスカントリーコースは見違えるほど美しくなり、ウォーキングをされていた方もとても喜んでおられました。



[林務課]

## ぼくたち「みやざき犬～宮崎県森林環境税version～」



みやざき犬発見10周年おめでとうございます！  
今や全国的にも人気者となったみやざき犬ですが、宮崎県森林環境税versionが存在しているのをご存じですか？

これは、宮崎県森林環境税の第3期（平成28年度～令和2年度）中の平成30年度に、当時、県が取り組んでいた4つの森林づくりをイメージし作成されたものです。

グリーンのコスチュームを身にまとった「みやざき犬」、宮崎県のかげがえのない森林を未来に引き継ぐため、宮崎県森林環境税のPRに頑張ってくれています。

宮崎県森林環境税は、令和3年度から第4期に入りました。県では、県民の皆さまからいただいている宮崎県森林環境税を活用して、安全で豊かな生活につながる森林づくりを、みやざき犬～宮崎県森林環境税version～と一緒に進めていきたいと考えておりますので、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

[林務課]



みやざき犬～宮崎県森林環境税version～



森林を守り育む  
次代の人づくり



資源の循環利用による  
森林づくり



県民の理解と参画  
による森林づくり



公益的機能を重視した  
森林づくり

## 職種を超えた連携を目指して ～中部地連協現場研修会～

行政課題が複雑多様化する中、職種の枠を超えて様々な現場の実情を知るとともに、地域の課題を共有しながら、分野横断的な連携・協働を進めるための職員の資質向上と視野拡大を図ることを目的として、令和3年12月8日（水）、中部地連協で初となる現場研修会を実施しました。

### 工業技術センター



10年にわたる研究により開発されたリサイクル技術

2012年にスタートした再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）により、太陽光パネルが大量に導入されましたが、パネルの寿命は20～30年と言われており、2030年には約80万tの廃棄が懸念されています。

研修では、CIS太陽光パネルからレアメタルと基盤ガラス等を分離するリサイクル技術の開発について、資源環境部の田頭宗幸さんから説明を受けました。

センターでは、この技術の新たな活用法について研究されており、将来を見据えて技術開発に取り組む姿勢に、参加者は大変感銘を受けた様子でした。

製品にX線を透過させて内部の計測・解析を行うX線CTモデリングシステムについて、機械電子部の田河智章さん、河野孝平さんから説明を受けました。この装置を活用することで、製品を破壊することなく、内部欠損や電子基盤の断線などが確認できるほか、3Dプリンターによる立体物の造成も容易になります。

コロナ禍で経営に打撃を受けた中小企業が、新たな製品を開発する中で積極的に活用されているそうです。



中小企業を支える最先端の大型機械

### 食品開発センター



圧の違う蒸留機

焼酎に使用される米や酵母、芋などがずらり

本県が全国一のシェアを誇る焼酎。その製造工程や焼酎用酵母の開発、蒸留器による違い等について、応用微生物部の山本英樹さんから説明を受けました。

現在の焼酎づくりの主流となっている酵母や原料となる米等を実際に見せていただき、参加者からは、素材（米や芋など）や発酵時間による味の違い、日本酒と焼酎の甘さの違いなどについて活発な質問がありました。



ウイルスのいない植物の生長点を切り取ってウイルスフリーの植物体を獲得する**茎頂培養**や、育種期間の短縮を目的に、葯（やく。花粉が入った袋）を用い、遺伝的に固定した植物体を獲得する**葯培養**、目的遺伝子を解明して選抜育種を行う**DNAマーカー選抜**等により、病気に強い品種育成等を行う技術について、生物工学部の山口和典部長から説明を受けました。



試験管がずらりと並ぶ培養室は、まさに圧巻の光景！

従来のハウスのイメージを覆す養液栽培ハウス



多収実現を目指したピーマン、キュウリの**養液栽培**に関する試験研究の取組について、野菜部の黒木正晶部長から説明を受けました。

環境制御装置を活用した養液栽培を行うことで、生育に合わせたかん水管理や追肥が可能になり、土耕栽培の2倍以上の収量が見込めるなど、本県の目指す「儲かる農業」の実現に繋がります。

## 国営造成施設 天神ダム(農業用ダム)

天神ダムは、宮崎市田野町・清武町など大淀川右岸地区1,938haの農業地帯の水源となる農業用水ダムで、全国的にも珍しいロックフィル型（岩を積み重ねて造成）のダムです。

研修では、平成26年度より進められている**土砂流入防止施設**や濁りの少ない水位から**選択放流する施設**等について、宮崎市農村整備課の三舛木潤さん、大淀川右岸土地改良区の川口大輔さん、中部農林振興局の徳丸学主幹から説明を受けました。

また、大淀川右岸土地改良区の方が毎日点検作業を行っている監査廊（ダムの地下60mにある点検用通路）を歩き、作業の大変さを体感しました。



ダム地下の監査廊に並ぶ計器類 300段を超える階段

## 参加者からのコメント

- 県の施設を知るいい機会になりました。改めて、県の業務の幅広さを認識することができました。設備投資や人材確保などの問題から、民間ではなかなかできない研究だからこそ、県がやる価値があることを再認識できました。
- 私は社会福祉職なので、普段関わることのない業種に触れることができ、とても新鮮で有意義な研修となりました。直接業務に関わりがないとしても、同じ県職員として課題に取り組む姿勢を見ることができ、とても刺激を受けました。今回の研修を通して得た知識を、自らの業務に活かしていきたいです。

## 新型コロナウイルス感染症 全庁体制

新型コロナウイルス感染症は、令和2年3月に県内で初めて感染が確認されて以降、令和4年2月までに県内で約1万6千人が感染し、大きな社会的影響を及ぼしています。

令和4年1月以降、全国で猛威を振るっているオミクロン株による第6波では、感染者の急増で業務が逼迫している保健所等を支援するため、本庁・出先機関を含め県庁全体で体制を構築して対応にあたっています。



検体採取の様子。  
保健所や施設等においてPCR検体採取を行います。

### 中央保健所の体制

本部長、副本部長	
総括班	BCP体制運営、県本部との連絡調整
積極的疫学調査班	陽性者・接触者等への疫学調査、クラスター対応
健康観察班	自宅療養者、濃厚接触者への対応
検体採取班	PCR検査実施、検査結果連絡
患者搬送班	患者搬送
事務班	診査会実施、就業制限通知等作成

## 地元選出県議会議員と中部地連協との意見交換会

令和3年11月15日（月）、中部地区における行政の一層の推進を図るため、宮崎市・東諸県郡選出の県議会議員と中部地方連絡協議会（中部地域の出先機関で構成）の所属長による意見交換会を開催しました。

まず、各所属の課題と取組の中から、次の4つの取組について説明したのち、福祉や教育など多岐にわたる行政分野について、各議員から御質問・御意見をいただき、有意義な意見交換を行うことができました。



意見交換会の様子



### 県立こども療育センター

療育センターに求められる役割とその取組

### 総合農業試験場

総合農業試験場におけるスマート農業の取組

### 宮崎土木事務所

ひなた宮崎県総合運動公園における津波避難施設の整備について

### 教育研修センター

県教育研修センターの一般県民に向けた事業について



津波避難施設整備  
(宮崎土木事務所)

地方回帰やデジタル化といった、新型コロナウイルス感染拡大を契機とした新たな県民ニーズに対応するため、今後も、各出先機関が互いに連携しながら、地域の課題解決に取り組んでいきます。

中部地方連絡協議会（中部地連協）は、中部地区にある県の出先機関の連絡を密にし、地方行政の総合的運営を図るために設置された組織で、37の機関から構成されています。  
今回は中部地連協の中から、3つの福祉施設を御紹介します。

## 身体障害者相談センター

身体障害者相談センターは、身体障がい者に対する相談支援や身体障害者手帳の交付、補装具や更生医療の要否判定のほか、市町村の給付事業に関する助言等を行っています。

また、脳の損傷等によって起こる高次脳機能障がいに対する相談支援を行っています。



〒880-0032  
宮崎市霧島1丁目1番地2  
宮崎県総合保健センター 5階  
Tel 0985-29-2556  
Fax 0985-31-3553  
<https://www.shinsyocenter-miyazaki.com/>



建物外観

### 身体障害者手帳

宮崎市を除く県内25市町村にお住まいの方からの申請を受け身体障害者手帳を交付しています。

### 補装具

義肢、装具、車椅子、補聴器等の給付について要否判定を行います。

### 更生医療

障がいの除去、または軽減を図るための更生医療の要否判定を行います。

## 高次脳機能障がい相談支援



左記のような症状でお困りの方の相談をお受けしています。

連絡先  
宮崎県身体障害者相談センター  
高次脳機能障がい支援コーディネーター

☎ 0985-29-2556  
✉ [shintaisogaisha-sodan-c@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:shintaisogaisha-sodan-c@pref.miyazaki.lg.jp)



高次脳機能障がいとは・・・

病気（脳血管障がい、脳炎、脳腫瘍等）や事故（脳外傷）によって脳が損傷されたために、認知機能や情動などに障がいを生じ、社会生活に支障をきたす状態をいいます。

## 精神保健福祉センター

精神保健福祉センターは、宮崎県の精神保健及び精神障がい者の福祉に関する総合技術センターとして、地域の住民のメンタルヘルスに関する知識の普及、相談業務による精神的な不調の予防、自殺対策、地域の保健所等関係各所の専門的技術指導の役割を担います。



### ☎精神保健福祉に関する相談

**【0985-27-5663】 月～金曜日（午前8時30分から午後5時15分）**

- うつ病や統合失調症など精神疾患に関すること
  - 思春期のこころの健康のこと
  - アルコール、薬物、ギャンブルなど依存症のこと
  - 大切な方を自死で亡くされた方からのご相談や自殺予防に関すること など
- 精神保健福祉全般にかかるご相談を専門の職員がお受けします。まずはお電話ください。



### ☎新型コロナウイルス感染症に関する「心のケア」の相談窓口

**【0985-27-5663】 月～金曜日（午前8時30分から午後5時15分）**

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することに伴い、感染症に関する様々な相談も増えています。

- 感染による誹謗中傷を恐れ誰にも相談できず悩まれる方
- 「新しい生活様式」への順応が難しい方
- 経済的な困窮を背景とした問題を抱える方
- 家庭や学校等の変化で影響を受けた児童生徒の皆さん



### ☎精神科医による診療相談 【予約受付：0985-27-5663】

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後2時 ～午後4時 (予約制)
ストレス専門 診療相談	ストレスによる精神的な不調、 うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連 診療相談	アルコール、薬物、 ギャンブル等の依存症	第1・3木曜日	
思春期精神保健 診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

### ☎ひきこもりに関する相談 【0985-27-8133、0985-44-2411】

- ひきこもって6ヶ月以上になる
  - どこに相談したらよいかわからない
- 精神保健福祉センター内に併設された「ひきこもり地域支援センター」が電話等で相談を受けます。

### ☎こころの電話相談 【専用回線：0985-32-5566】

- ・月曜日～金曜日【午前9時～午後7時】  
(祝祭日、12/29～1/3を除く)
- 専門の電話相談員が相談をお受けします。



# 宮崎県立こども療育センター

宮崎県立こども療育センターは、児童福祉法に基づく障がい児療育拠点施設であるとともに医療法に規定する小児整形外科専門病院としての機能も備えた県内唯一の施設です。脳性小児麻痺などで比較的長期にわたる治療を必要とする子ども達に対して、整形外科的治療やリハビリテーション、生活指導等を行いながらその障がいの除去、軽減を図っています。



治療と療育を担っています。



医療と福祉がひとつになった施設です。

## 外来

お子さんの運動機能を向上させるための整形外科手術を数多く行っています。

診療科目 整形外科、小児科(再診のみ) 歯科、泌尿器科、眼科 【予約制】

## リハビリテーション

医師やセラピスト(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)、看護師、心理士、児童指導員、保育士等、多職種の専門スタッフが、診療ときめ細かい支援を行いながら、発達の遅れや障がいのある子ども達の潜在的な力を最大限伸ばすよう努めています。また家族支援も含めたQOL(生活の質)の向上を目指しています。

## 入所部門

### 医療型障がい児入所施設

病棟で集団生活をしながら、治療やリハビリテーションを行います。また、県立清武せりゅう支援学校と隣接しており、治療を受けながら学校へ通うこともできます。

## 通所部門

### 児童発達支援センター

親子でいろいろな遊びを楽しみながら子ども達の発達を促したり、発達や子育てに不安や困難を抱えている保護者の相談にも応じています。

### 短期入所・日中一時支援

在宅療養の負担軽減のため、宿泊して利用する短期入所や日帰りで利用できる日中一時支援を、入所施設の空床を利用してサービス提供を行っています。



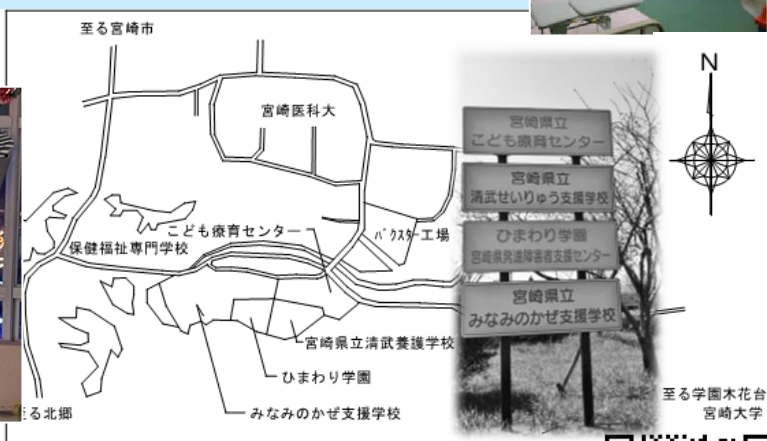
一般病棟50床  
(うち親子入所5組)



2台の機械浴槽を設置しており快適な入浴ができます。



障がいのあるなしにかかわらず子どもたちがいきいきと暮らせるような地域医療・福祉の一端を担えるようスタッフ同取り組んでいます。(K)



☎ 889-1601 宮崎市清武町木原4257-8 ☎ 0985-85-6500  
FAX 0985-85-6501 <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kodomoryoiku-c/index.htm>



# 法華嶽公園キャンプ場

コロナ禍でも楽しめるアウトドアフィールドへ

凜と張り詰める空気、寒さを増すほどに輝く冬の星々、愛染川のせせらぎ…ゆらめく焚き火を眺めながら、ドリップしたコーヒーを口に含む。何ものにも代えがたい非日常の時間が、心と体を癒してくれる。

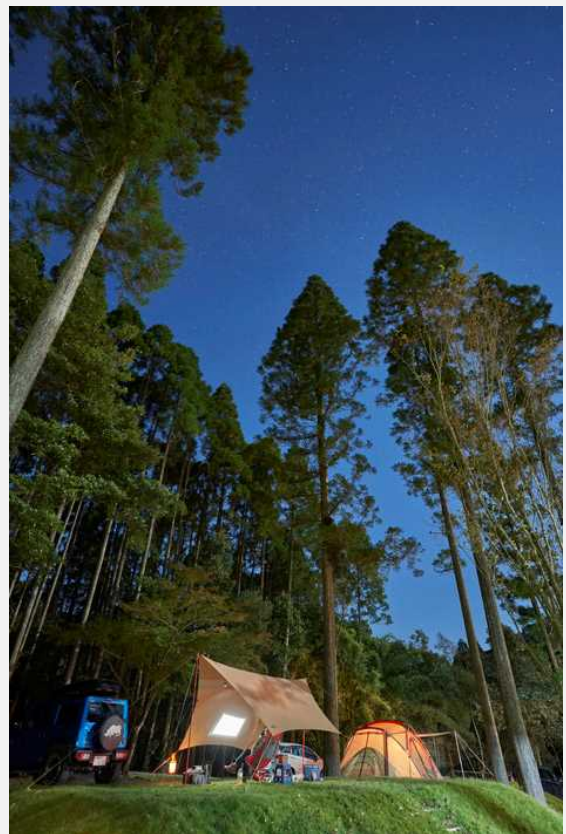
宮崎市内から車で約45分、東九州自動車道の国富スマートICからは車で約25分と、アクセスしやすい立地が売りの法華嶽公園キャンプ場。宮崎市を中心に多くのキャンパーが訪れ、ゆったりとした週末のひとときを過ごしています。

コロナ禍を受け、空前のブームとなっているアウトドア。密をさげ、家族や友人とゆっくり過ごせるキャンプは、アウトドアの最たるものと言えます。当町にはかなり前からキャンプ場がありましたが、それは夏休みの間だけ、昔懐かしい常設テントを立て、スポーツ少年団のような団体を受け入れることを主にした施設。自慢のキャンプギアを持ち込めるようなフィールドとは言えませんでした。

コロナ前にも、キャンプ場の利用率を上げるべく、モニターキャンプを実施するなどしてキャンパーの意見を取り入れ、テントの持ち込みが可能な芝のテントサイトを整備していましたが、令和2年度には、コロナ交付金を活用して、車の横付けができ、より大きなテントも張れるオートキャンプサイトの区画整理を行いました。

さらに、基本的に夏休み期間だけの営業だったキャンプ場を、令和2年度は11月末まで、今年度は3月末まで延長。今秋は全部で16あるテントサイトが全て埋まる週末も複数回あり、既存の施設も有効に活用することができます。

令和4年度は国や県がワーケーション関連の事業にも力を入れるそうなので、新たなニーズに応えることができるよう、キャンプ場のみならず法華嶽公園全体をアップデートしていくチャンスでもあります。様々な補助制度などを活用しながら、よりよい公園づくりを目指していきます。



新しく整備したオートキャンプサイト。  
1区画2,000円で、入場料（1人200円）  
を含めても格安の設定。

[国富町企画政策課]